

イーストクリニック外来透析患者様へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	静的静脈圧と IAP ratio を用いたモニタリング ～自己血管内シャント(AVF)でも活用できるのか～
研究責任者	医療法人一陽会 イーストクリニック 血液浄化部 透析室 臨床工学技士 有田 英貴
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
研究の目的	人工血管内シャント (AVG) の狭窄状況を把握するための指標として静的静脈圧や IAP ratio のモニタリングが有用と言われている。当院使用中のコンソール DCS-200Si は静的静脈圧監視機能があり、静的静脈圧測定は毎返血後に測定し IAP ratio を算出している。しかし、この指標は AVG に対する指標であり自己血管内シャント (AVF) を対象にした指標ではない。そこで静的静脈圧や IAP ratio のモニタリングが AVF シャント管理の指標になるかどうかを検討する。
調査データ 該当期間	2023 年 8 月 1 日から 2024 年 8 月 31 日までの情報を調査対象とする
対象となる患者さん	イーストクリニック外来透析患者
研究の方法 (使用する試料等)	年 3 回以上 Percutaneous Transluminal Angioplasty (経皮的血管拡張術 : PTA) を行っている AVG 患者 7 名、AVF 患者 31 名を対象に、1 年間の静的静脈圧と IAP ratio の数値を透析支援システム Future Net Web より抽出し、推移と相関を確認。検定には母相関係数の無相関検定を用いる。また、それぞれの数値をグラフ化し、傾向を確認。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	なし
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。研究中の危険性などはありませんが、本研究に協力しかねるとお考えの方は下記の担当者までお申し出ください。データは使用いたしません。また、このことにより今後当院における透析、その他の治療に影響することは一切ございません。
お問い合わせ先	〒732-0811 広島市南区段原南 1-5-53(イーストビル 6F) 医療法人一陽会 イーストクリニック 電 話 : 082-506-0123(代表) 担当者 : 血液浄化部 有田 英貴